

第1期中期目標期間業務実績報告書<概要>

資料5

中期目標	H28 市評価	H29 市評価	H30 法人 自己評価	中期目標期間 法人自己評価	法人自己評価理由	該当 頁数
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
大項目評価	A (順調に進捗)	B (概ね順調に進捗)	A (順調に進捗)	A (目標を達成)	市内輪番体制の維持が喫緊の課題となっている中、新設した救急科を中心とした救急医療体制により、市内公的病院で最も多い救急搬送患者の受け入れを行い、地域の救急輪番体制の要として貢献した。平成29年4月より導入したPET/CTの稼働などにより高度医療の提供を実施した。熊本地震では当院の災害派遣医療チーム(DMAT)の現地派遣など、災害拠点病院としての活動を行った。臨床研修医の採用は3年連続でフルマッチングし、看護師採用においては安定した採用により7対1看護配置体制を前倒して実現させた。関係機関との連携ではイーソーネット(疾患別連携システム)や病診がんカンファレンスなどに取り組み、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。新設した「医療がつかなく「ひと」と「地域」の交流センター」を中心に「静岡市民『からだ』の学校」を毎年開催し、中山間地域では心肺蘇生AED実践型セミナーを併せて行うことで、参加者の知識習得に努めた。市教育委員会及び学校と連携した「がん教育」の推進など市民に向けた積極的な医療情報の発信による社会活動を行った。これらの実績によりA評価とした。	11~48
【参考】各年度の小項目評価	H28	H29	H30 (法人自己評価)	主な運営状況(実績)、特筆すべき取組等		
1 地域医療を支える要としての静岡病院						
(1) 広大な市域を支える要としての活動	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送患者の受け入れ実績は市内公的病院の中で最多(H28 5,894人、H29 6,161人、H30 6,180人) 平成29年4月よりPET/CTを導入し、安定的な稼働により高度で先進的な医療を提供 当院DMATの被災地での医療救護活動(H28.4)及びBCP(事業継続計画)の策定(H30.1)を実施 第一種感染症指定医療機関として、防護服着脱訓練など受け入れ態勢を維持 「静岡市民『からだ』の学校」(毎年、都市部2回、中山間地域3回)や、学生向けの医療体験セミナー(毎年、高校生1回、中学生2回)等の開催により医療に関する情報を積極的に発信 市内中学生を対象とした「がん教育」を平成29年度より開始(H29 3校、H30 8校) 		
(2) 救急医療	3	3	3			
(3) 高度医療	4	4	4			
(4) 政策医療	3	3	3			
(5) 災害時医療	4	3	3			
2 医療の質の向上と人材の確保						
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ハートセンター、消化器総合センターなど複数の診療科による質の高い医療を提供 栄養サポートチームなど従来のチームの他、新たに認知症ケアチームを設置(H30.3)し、多職種による専門性を活かしたチーム医療を実施 PET/CT、アンギオグラフィ、CTなど医療機器の整備・更新を実施 看護師採用計画の早期進捗により、7対1看護配置体制を前倒して実現(H29.4→H28.8) 臨床研修医は毎年、定員を上回る申込人数がありマッチング率は100%を維持 臨床試験管理センターを設置(H28.4)し、倫理的かつ適正な臨床研究及び治験を実施 		
(2) 先進医療機器や設備の整備	3	3	3			
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上	4	3	3			
(4) 臨床研修医の育成	4	4	4			
(5) 調査・研究、治験の実施	3	3	3			
3 医療の安全性と信頼性の向上						
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 説明と同意に関するガイドラインの作成(H30.7)とセカンドオピニオン外来の実施 医療安全委員会の開催と職員を対象とした研修会の実施 平成29年度より感染管理システムを導入し、精度の高い感染管理体制を構築 病院ホームページを見直し、スマートフォン対応、多言語翻訳サービスの活用などリニューアルを実施 		
(2) 医療安全管理等の徹底	3	3	3			
(3) 市民への積極的な広報	3	3	3			
4 利用しやすく快適な病院づくり						
(1) 患者第一の病院づくり	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談センターを設置(H29.4)し、相談窓口の一元化と病診連携の推進を実施 会計窓口職員の柔軟な配置などによる、会計待ち時間の短縮化 全職員を対象とした接遇研修の実施 		
(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	3	2	3			
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流						
(1) 市立病院としての市との連携	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 市が策定した目標に基づき、法人が中期計画を策定し業務を遂行 業務実績について評価委員会の評価を受け、その内容を院内会議等で周知 イーソーネット(疾患別連携システム)など地域の医療機関と連携し、目標を上回る紹介率・逆紹介率を維持 全国自治体病院学会、全国地方独立行政法人病院協議会などへ参加 		
(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	4	4	4			
(3) 国内外医療関係機関との交流	3	3	3			

第1期中期目標期間業務実績報告書<概要>

資料5

中期目標	H28 市評価	H29 市評価	H30 法人 自己評価	中期目標期間 法人自己評価	法人自己評価理由	該当 頁数
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
大項目評価	A (順調に進捗)	A (順調に進捗)	A (順調に進捗)	A (目標を達成)	働きやすい職場環境を目指し、医師の長時間労働の改善を目的とした「変形労働時間制度」、多様な働き方の実現に向けた「介護短時間勤務及び短時間勤務制度」を導入した。また、ストレスチェック、ハラスメント防止研修など職員の心理的負担を軽減する取り組みを進めた。認定看護師などの資格取得に向けた費用負担や、研修会開催などにより職員の自己啓発への支援を実施。組織体制では新たに「経営課」「医療がつながる「ひと」と「地域」の交流センター」「総合相談センター」「がん相談支援センター」「教育研修管理センター」などを設置し幅広いニーズへ柔軟に対応した。日本医療機能評価機構の認定更新に向けた取り組みや患者意見への対応など、外部評価を活用した病院運営に努めた。事務部門では他病院勤務経験者など実務者を採用し派遣職員から法人職員への切り替えを実施した。これらの実績によりA評価とした。	49~57
【参考】各年度の小項目評価	H28	H29	H30 (法人自己評価)	主な運営状況（実績）、特筆すべき取組等		
1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり						
(1) 働きやすい職場環境の整備	3	4	3	・新たに「変形労働時間制度」、「介護短時間勤務及び短時間勤務制度」を導入 ・ハラスメント防止研修、暴力暴言等対策研修の実施 ・認定看護師など技術向上に必要な資格取得への支援		
(2) 職員のやりがいと満足度の向上	3	3	3			
2 業務運営体制の構築						
(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築	3	3	3	・「経営課（H28.4）」「がん相談支援センター（H29.4）」「教育研修管理センター（H30.4）」「経営戦略室（H30.4）」などを新設し、組織を弾力的に改組 ・外来案内などボランティアとの協働による病院運営の実施 ・学生の協力による院内コンサート開催やフラワーアレンジメントの実施 ・日本臨床研修評価機構（JCEP）の認定更新（H28.4）や日本医療機能評価機構の認定更新（H30.11）など、外部評価の活用 ・他の病院経験者など専門性の高い実務経験者を法人職員として採用 ・定款及び各規程など、院内ネットワークへの掲示による職員への周知		
(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施	3	3	3			
(3) 外部評価等の活用	3	3	3			
(4) 事務部門の強化	3	3	3			
(5) 法令の遵守等	3	3	3			

中期目標	H28 市評価	H29 市評価	H30 法人 自己評価	中期目標期間 法人自己評価	法人自己評価理由	該当 頁数
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
大項目評価	A (順調に進捗)	C (やや遅れている)	A (順調に進捗)	A (目標を達成)	経営改善プロジェクトなどによる施設基準の新規取得や算定率の向上を図り、入院単価と収入の改善に努めた。費用節減策として後発医薬品への切替えや、外部アドバイザー同席による薬価交渉、診療材料費の価格交渉など費用適正化への取り組みを行った。また、職員の意識改革として外部講師による院内講演会や研修を開催した。これらの実績によりA評価とした。	58~63
【参考】各年度の小項目評価	H28	H29	H30 (法人自己評価)	主な運営状況（実績）、特筆すべき取組等		
1 健全経営の維持						
(1) 安定的な経営の維持	4	2	4	・平成28年度決算 4億4,800万円黒字、平成29年度決算 1億9,500万円赤字、平成30年度決算 6,600万円黒字 ・診療報酬上の加算となる施設基準（7対1看護配置など）の積極的な取得 ・外部アドバイザー同席による薬価交渉、診療材料費の価格交渉など費用適正化への取り組み ・各診療科の整備計画を参考に医療機器を更新		
(2) 収入の確保、費用の節減	4	3	4			
(3) 計画的な投資の実施	3	3	3			

中期目標	H28 市評価	H29 市評価	H30 法人 自己評価	中期目標期間 法人自己評価	法人自己評価理由	該当 頁数
第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置						
大項目評価	A (順調に進捗)	A (順調に進捗)	A (順調に進捗)	A (目標を達成)	電力消費量やCO2排出量の削減を図るため、環境負荷の少ないLED照明への順次切替え、温水ポンプの制御機能の改善などを行った。紙の分別収集に取り組みゴミの減量と処理費用の縮減を図った。これらの実績によりA評価とした。	64~65
【参考】各年度の小項目評価	H28	H29	H30 (法人自己評価)	主な運営状況（実績）、特筆すべき取組等		
1 地球に配慮した病院運営						
	3	3	3	・環境負荷の少ないLED照明への順次切替えとリサイクルの推進		